

令和5年度 シラバス 【理科】

科目名		単位数	学年	使用教科書	使用副教材		
科学と人間生活		2	1	61啓林館 科人703 科学と人間生活	啓林館 科学と人間生活の学習ノート		
◇科目の概要と目標							
1 自然と人間生活とのかかわり及び科学技術が人間生活に果たしてきた役割について理解する。							
2 身近な事象・現象に関する観察・実験などを通して、科学技術の発展と人間生活とのかかわりについて理解を深める							
3 科学の基本的な概念や原理・法則を学び、科学的な見方や考え方を養う。							
4 科学に対する興味・関心を高める。							
5 科学技術の在り方について市民が意思決定するために必要な、科学的な知識、能力、態度を身に付ける。							
◇科目の観点別評価の目標							
知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度			
自然と人間生活との関わり及び科学技術と人間生活との関わりについての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの技能を身に付けている。		自然の事象・現象から問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、人間生活と関連付けて科学的に探究している。		自然の事象・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。			
月	4 月	5 月		6 月		7 月	
科目名	単元	単元	中間考査	単元	単元	期末考査	
科学と人間生活	序章 科学技術の発展	第1部 生命の科学 第2章微生物とその利用 A 生態系における微生物		第1部 生命の科学 第2章微生物とその利用 B 微生物と人間の食生活 C 微生物と医学への利用	第2部 物質の科学 第2章 衣料と食品 A 衣料の科学		
知識・技能	通信、医療、交通の技術がどのように移り変わったかを羅列できるかを評価する。	微生物の種類別の区別、炭素や窒素の変化を理解できているかを評価	単元 1、2 内の重要語句に関する問い約30点分	微生物発見の歴史や食品への利用、医療や健康へ微生物がどのように利用されているかを理解しているかを評価する。	衣料に使われる繊維の特徴や違い尾を理解できているかを評価する。	単元 3、4 内の重要語句に関する問い約35点分	
思考・判断・表現	変化が今後どのようなようになるかをグループで話し合い、授業プリントでまとめたものを評価する。	既習の顕微鏡の使い方を再現できるかを評価する。 炭素や窒素の循環図をプリントで評価	単元 1、2 に関する思考問題、判断問題約70点分	微生物の発見に関する実験や発酵の課程、医学に貢献した科学者についてプリントやタブレットを使用して調べ、まとめたものを評価する。	身のまわりで使われている衣類がどの仲間になるかを班で話し合い、まとめたプリントで評価する。	単元 3、4 に関する思考問題、判断問題約65点分	
主体的に学習に取り組む態度	グループの話し合いに参加し取り組む姿勢を評価の参考にする。	微生物の区分けに取り組めたかを評価の参考とする。	考査に向けての取り組みが見られない場合に限り、評価に反映	グループの話し合いに参加し取り組む姿勢を評価の参考にする。	グループの話し合いに参加し取り組む姿勢を評価の参考にする。	考査に向けての取り組みが見られない場合に限り、評価に反映	
月	7 月	9 月		10 月		11 月	12 月
科目名	単元	単元	中間考査	単元	単元	期末考査	
科学と人間生活	第2部 物質の科学 第2章 衣料と食品 B 食品の科学	第3部 光や熱の科学 第2章 熱の性質とその利用 A 熱とは何か		第3部 光や熱の科学 第2章 熱の性質とその利用 B エネルギーの利用	第4部 宇宙や地球の科学 第1章 太陽と地球 A 身近な天体～太陽と月～		
知識・技能	栄養素として食品に含まれる物質がどのように身体をつくるかを理解しているかを評価する。	眼に見えない熱とはどのようなものかを説明できるかを評価する。	単元 5、6 内の重要語句に関する問い約30点分	眼で見えないエネルギーをどのように利用しているかを説明できるかを評価。	太陽や月のようなすを語句を用いて説明することができるかを評価する。	単元 7、8 内の重要語句に関する問い約40点分	
思考・判断・表現	さまざまな栄養素の構造を話し合い、「」どのように結合しているかを書くことができるかを評価する。	熱を、公式を用いて計算によって考え、書き表すことができるかを評価する。	単元 5、6 内の施行問題、計算問題を約70点分	エネルギーの変換を、図や公式を用いて計算によって考え、書き表すことができるかを評価する。	太陽や月が地球からどのように変化するかをグループでの話し合いに参加できるかを評価する。	単元 7、8 内の施行問題、計算問題を約60点分	
主体的に学習に取り組む態度	グループの話し合いに参加し取り組む姿勢を評価の参考にする。	グループでの検討会に参加し取り組む姿勢を評価の参考にする。	考査に向けての取り組みが見られない場合に限り、評価に反映	グループでの検討会に参加し取り組む姿勢を評価の参考にする。	グループの話し合いに参加し取り組む姿勢を評価の参考にする。	考査に向けての取り組みが見られない場合に限り、評価に反映	
月	12 月	1 月		2 月		3 月 年間	
科目名	単元	単元	単元	学年末考査	総合評価		
科学と人間生活	第4部 宇宙や地球の科学 第1章 太陽と地球 B 潮の満ち引き C 太陽放射と地球 D 大気の運動						
知識・技能	太陽や月が地球に与える現象を説明できるかを評価する。			単元 9 内の重要語句に関する問い約40点分	1年間を通じて、生物、化学、物理、地学が人間の生活に与える影響を説明できるかを評価する。		
思考・判断・表現	太陽や月のが地球に与える影響がどのように人間の生活に影響を与えるかを班で話し合いで切るかを評価する。			単元 9 に関する思考問題、判断問題約60点分	1年間を通じて、生物、化学、物理、地学が人間の生活に与える影響を班で話し合い、積極的に取り組めたKを評価する。		
主体的に学習に取り組む態度	グループの話し合いに参加し取り組む姿勢を評価の参考にする。			考査に向けての取り組みが見られない場合に限り、評価に反映	取り組む姿勢を評価の参考にする。		